

北陸新幹線



ENGINE プログラムに取り組むみなさまへ



担当理事・副学長
武山 良三

北陸新幹線の利用者数は、2015年の開業以降高水準を維持していましたが、2020年はコロナ禍で大幅に落ち込みました。しかし、外出自粛やリモートワークなどを強いられたこと、新たな生活様式への対応が求められたことなどから、移住定住を含めて地方への期待が高まっています。COVID-19の感染が落ち着いた時に向けて、将来的には大阪まで結ばれるという北陸新幹線の活用と地域の活性化とを相乗させた取り組みが求められています。これからの地域を支える人材を育てる「ENGINEプログラム」は、沿線三県にある信州大学、金沢大学、富山大学が連携して行う、まさに次代の地域づくりに向けた事業です。皆様のご理解・ご支援を得て、大きな成果に繋げていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。



事業代表教授
岸本 寿生

信州大学、金沢大学、そして富山大学の北陸新幹線エリアの3大学が協働して取り組むENGINEプログラムは、様々な分野の地域産業のこれからの在り方を創造し、新しい働き方を創出するための柔軟な思考力と豊かな発想力を涵養する教育プログラムです。不確実性が高いこれからの時代に起きうるであろう数多の問題は、既存の文系、理系の専門分野だけでは解決できない複雑なものであると想定されます。我々が経験したことのない未知の課題に対し、3県の大学、企業、行政が円陣(ENGINE)を組み、相互の教育・研究資源を活用しながら、変化への対応力や突破力を持った人材を育成します。データサイエンスを活用することで、人類の叡智を繋ぎ、輝く未来を拓いていきましょう。

信州大学・金沢大学のENGINEプログラムの特徴



全学横断特別教育プログラムの5つのコースと連携し、地域の課題を魅力に捉えなおすデータサイエンスのための素養をはじめ、地域資源や魅力発見に向け、これまでの固定概念を打破する発想力、「ゼロ」から「イチ」を創り出すための創造力と実行力、自らの限界を伸ばしていく専門力、これらの力を他者との関係から修得するプログラムです。また、富山大学と金沢大学とも連携し、特定の地域にとらわれない思考や連携する力を身に付けていきます。



金沢大学が展開するENGINEプログラムは、地域の発展に取り組む自治体や企業とのつながりを深め、実践的な課題解決を学びながら、修得すべきリテラシーを磨き、働くことへの意欲を高め、失敗を恐れずにチャレンジする機会を得て、観光やまちづくりの視点から地域の持続的な発展に貢献できる人材を育成します。また、信州大学と富山大学とのネットワークを活用し、3大学が連携することによって実現する県域を超えた新しいつながりを重視します。



大学による地方創生人材教育プログラム構築事業
Centers of Community —
Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization through New Human Resources Education Programs

地方創生に向けては、当該地域にある高等教育機関が核となって、その地域の経済圏における教育と職業、教育と新たな産業を結びつけていく活動が不可欠です。人生100年時代においては、高等教育機関には多様な年齢層の多様なニーズを持った学生を教育できる体制が必要となるため、いわゆる就職氷河期世代も含めた様々な社会人に対しても受けやすく即効性のある出口一体型人材養成の確立が求められています。本事業は大学・地方公共団体・企業等の各種機関が協働し、地域が求める人材を養成するための指標と教育カリキュラムを構築し、指標に基づき、出口(就職先)が一体となった教育プログラムを実施いたします。



表紙のデザインについて
混沌とした時代の中で、刻々と変化する人・モノ・情報そしてその繋がりを点と線のダイナミックな関係性として抽象的に表現しています。その動きに対し、データサイエンスの力などを活用し、新しいミカタ/捉え方をすることにより未来につながる地域社会価値を創出する、そのために必要な次代を担う人材を育成するというENGINEプログラムが目指す未来について、3県の輪郭とその中の存在する点と線をもって表現しています。

問合せ先

履修に関すること	学務部学務課 Tel: 076-445-6122 E-mail: g-kikaku@adm.u-toyama.ac.jp
インターンシップに関すること	学務部就職支援室 Tel: 076-445-6255 E-mail: employ@u-toyama.ac.jp
事務局	研究振興部社会貢献課 Tel: 076-445-6519 E-mail: chiiki@adm.u-toyama.ac.jp

<https://enpg.u-toyama.ac.jp>

ENGINE PRGM



文部科学省『大学による地方創生人材教育プログラム構築事業』 地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」

富山大学が展開するENGINEプログラムは、既存の「地域課題解決型人材育成プログラム」と「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を融合・発展させ、出口（就職先）が一体となった教育プログラムを実施いたします。学生は低学年次より地域が求める人材のための素養を身に付け、地域企業で働く意義など、自身のキャリア形成に取り組んでいきます。また、このプログラムには、3県（富山、石川、長野）で実施する課題解決型等の様々なタイプのインターンシップを取り入れており、学生は自身の興味・関心や希望に合ったインターンシップを選択します。信州大学と金沢大学とのネットワークを活用し、特定の地域にとらわれない柔軟な思考力と奇抜な発想力を涵養します。

ENGINE教育プログラム

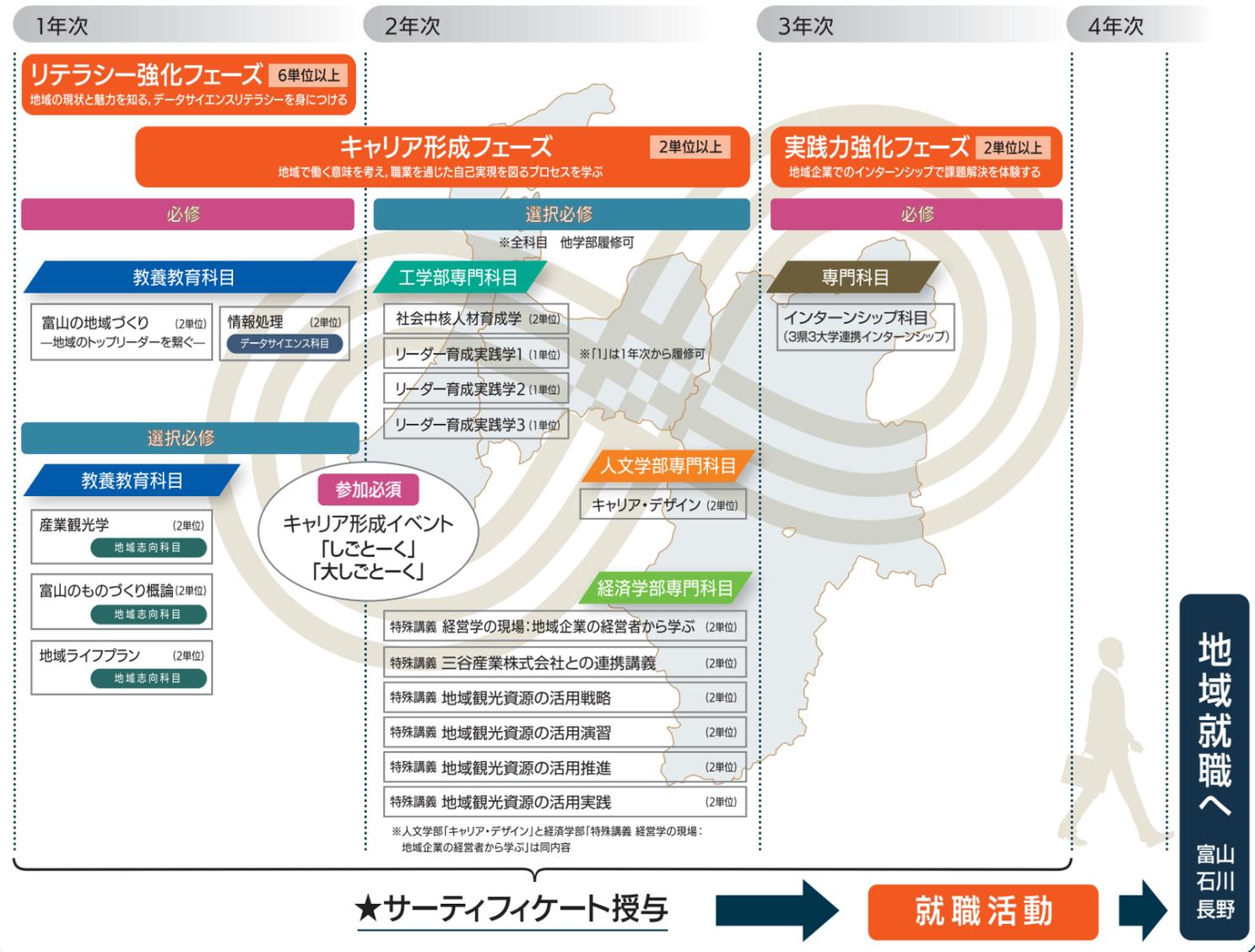
信州大学

富山大学

金沢大学

※「必修」「選択必修」とは、本プログラム修了に係るものです。所属学部卒の卒業要件とは異なりますので注意して下さい。

全ての学部の学生が参加可能!



3大学連携科目
地域のトップリーダーを繋ぐ



キャリア形成イベント
しごとーく in 富山



課題解決型インターンシップ
ENGINEインターンシップ



◆上記の他、外部連携事業として「くすりのシリコンバレーTOYAMA」富山大学サマースクール「創業・製剤コース」を実施しています。



富山大学ENGINE教育プログラムの特徴

モビリティ・エンゲージド産業（交通・観光・食・インフラ活用）分野における地域の持続的な発展に貢献できる人材を養成

1年次から3年次にわたる3つのフェーズで長期的に人材を教育

リテラシー強化フェーズ

地域の現状と魅力を理解するための基礎リテラシー、地域の課題発見・価値創造のためのデータサイエンス力を身に付けます。

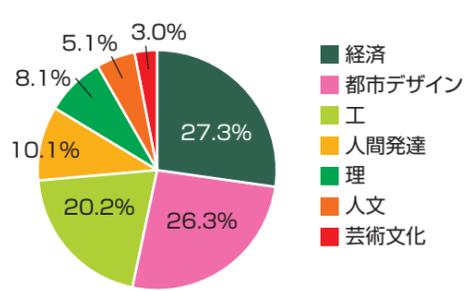
キャリア形成フェーズ

地域企業との連携授業・イベントにより、地域で働くことの意義を見出し、地域の社会人との対話を通じて自身のキャリア形成を図るプロセスを学びます。

実践力強化フェーズ

地域企業で実際の仕事を体験します。先行フェーズで身に付けた素養と能力を現場での実践によりさらに高め磨き上げます。

富山大学 学部別履修者数 割合



富山大学 履修者数 99名
(参考:信州大学 49名、金沢大学 41名)

2021年度実施教養教育科目(リテラシー強化フェーズ)
「富山の地域づくり-地域のトップリーダーを繋ぐ-」

企業課題解決型「ENGINEインターンシップ」

地域基幹産業を再定義・創新する「トップリーダー」として必要なマインドセットやスキルの獲得をめざすインターンシップ

地域企業が求める人材と地域で働きたい学生。両者の地域への想いを繋ぐため、本プログラムは低学年次から地域力を醸成していく設計になっています。講義だけに留まらず、地域で活躍する社会人との交流会を図る(キャリア形成イベント「しごとーく」)ことで、地元企業の存在を身近に感じ、時間をかけて地域の価値を見出していくことができます。地域で働くための十分な素養が身に付いた後には、実際の仕事を体験すること(ENGINEインターンシップに参加すること)によって、地域定着への決意を新たにすることができるでしょう。

ENGINEインターンシップは、多種多様な協働企業との連携により、「**創新・連携・突破**」の3つの力を身につけた学生の地域定着を促進します。

ENGINEインターンシップ協働企業

(2021年度実績企業)

三協立山株式会社
立山科学グループ

日本海ガス絆ホールディングス株式会社

アドバイザー企業：株式会社チューリップテレビ